

ひろば大代

NO.378

大代まちづくり
センター

H23.1.11

謹賀新年

本年もよろしく

お願い致します

平成二十三年元旦



大代まちづくりセンター

新春に寄せて

センター長 竹島 修

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと都市交流会、文化祭などの諸行事また、クリスマス会、パソコン教室などの主催講座などを皆さんのご協力によりつつがなくこなす事が出来ましたことを衷心より御礼申し上げます。

新しい体制になって二年が過ぎようとする中、人口の減少と高齢化が進む大代町で町づくりを考える時、まちセンが何をなすべきか、情報発信の場としてまた生涯教育の中核施設として御利用・御活用頂くだけでよいのかスタッフとも考えることばかりです。

今年は何か新しい切り口で、地域に根づいた活動を行い、地域の皆さんが楽しく参加出来るような事業を模索しながら、スタッフ一丸となって頑張りたいと思っております。皆さん話を聞かせてください。それから町づくりが始まります。

末筆になりましたが、皆様のご多幸とご健康を祈念致しまして新年の御挨拶とさせていただきます。今年もよろしく御願いたします。

新春を迎えて

連合自治会

会長 佐藤哲朗



明けましておめでとうございます。す。

皆様には輝かしい新春を、お健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年一年間大代町自治会運営にご協力頂き有難うございました。

二〇一〇年を振り返ってみると、国内では鳩山総理が辞任し、菅政権が誕生しましたが、トラブル続きで政治は迷走を続けました。

大田市では、医師不足による市立病院の救急告示取り下げで年が明け、医療問題がクローズアップされました。

当大代町でも少子高齢・過疎が進行し、六十五歳以上の人口比率が五十%、また七十五歳以上の後期高齢者が三十六%と三分の一を占める中で、中学校・小学校の統合問題・大代幼稚園運営補助金廃止報道等、深刻な問題が山積した一年間でした。

二〇一一年もこうした問題は解決に至らず、さらに激震が予想されます。

大代町は元気のある町を目指し、まちづくりセンターを中心にして、

「高山そば道場」・「高山の里」を有効活用し、地元の材料を活用した昔から伝わる物づくりや新たな特産品作りに町民皆様のご協力を得て挑戦し、町内外へ情報発信を行いたいと思います。

明るく活力ある町づくりの為、町民皆様のご協力をお願い致します。

本年もよろしく

お願いいたします。



大代高山会会長 木村幸司

明けましておめでとうございませす。どちら様も、お健やかに新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

平素は、高山会事業に対しまして、格別なるご理解と、ご協力を賜っておりまして衷心よりお礼申し上げます。

本年も、都市とふるさとを結ぶ交流会をはじめ、県道花壇や高山登山道の整備等々、例年とおりの事業は、変わることなく、行方予定と致しております。

また、今年度の関西高山会総会は、記念の年に当たり、大代町の伝統芸であります「田植え囃子」「石見神楽」双方にお出掛けいただきたい旨、要請いただいております。

今年度も、ご協力いただきたい事が盛りだくさんでございますが、皆様方には、変わらませずご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

末筆となりますが、皆様方のご健勝と、ご多幸をお祈りし新年のご挨拶と致します。本年もどうぞ、よろしく申し上げます。

年頭のご挨拶

東京石見高山会会長

今田 潔



大代町の皆様、新年明けましておめでとう御座います。ご家族揃ってお元気に新しい年をお迎えになつた事とお慶び申し上げます。

日頃は東京石見高山会の活動に對して温かいご協力、ご支援を頂き誠に有難うございます、会員を代表

して心から御礼申し上げます。

昨年は自然環境、社会環境共に変動の大きな年となりました。記録的な夏の猛暑は、米をはじめとして多くの農作物に悪影響が出て農家の皆様にとっては厳しい年となったのではないかとお見舞い申し上げます。

海外市場への展開を進めている製造業は中国をはじめとする新興国の高い経済成長に助けられリーマンショック前のレベルまで戻してきました。

しかしながら、海外での厳しい競争の中で原料高、製品安、そして円高と言う三重苦に見舞われて手取り収入は上がらず、一昨年より業況が回復して来たとは言え依然として厳しい状況が続いており、国内における設備投資や雇用の増大には繋がっていません。

国民の大きな期待を背負って政権交代を果たした民主党が、鳩山首相の人間失格とも思われる全く無責任な軽い発言の連発で支持を失い僅か9ヶ月で辞任、党のもう一人

の代表である小沢幹事長もまた政治とカネの問題でつまずき鳩山首相と心中することになり、またも世界に日本の3流政治の恥をさらす事となりました。

その後登場した菅政権も内政、外交共に失態が多くリーダーシップのない党運営で方向が定まらず、懸命に努力している産業界や、国民生活の苦境をよそに、党内闘争、政権維持に明け暮れている所業は許しがたいと考えています。

さて小生、昨年3月ニュージランド(NZ)に経済調査団の一員として訪問し、キー首相をはじめ貿易、外務の2閣僚を含む政府要人、NZ準備銀行総裁、NZ郵便公社会長や各経済団体との面談を行うと共に現地企業7社を訪問して情報並びに意見交換を行いました。

NZは農業、畜産業の盛んな国ですが各国とのFTA(自由貿易協定)の締結を積極的に進めており中国とも既に2年前に締結し農・畜産物の輸出だけでなくNZの優れた農・畜産技術を活かして現地企業を

立ち上げ成果を上げているとの事でした。

世界で最も補助金の少ない国と言われている現地畜産業者から“補助金で助けられた産業は決して競争力を持ち得ないし、生き残れない”といわれ、日本の農業のあり方を深く考えさせられました。

競争力を持った産業としての農業の再生・復活を早急にそして懸命に模索する必要がある、其の時間はあまり残されていないと考えています。

国民の強力な支持を背景に、政権発足後100日で達成すべき各分野の政策を公約通り、全て道筋をつけ成し遂げたと言う実績を持つ、キー首相が我々との面談で、2カ月後に発表する新予算の内容や、消費税を12.5%から15%に引き上げる事などを明確に示した上で今年度は4%の経済成長が出来ることを表明するなど、自信に満ちた強力なリーダーシップを目の当たりにし流石だと思うと同時に、彼我の落差の大きさを改めて思い知らされま

した。

何はともあれ、我々国民が選んだ政党であり、政権である以上一端の責任を感じつつ大いに建設的意見を開陳し、提言すべきであると考えています。

長くなりましたが最後に一言、人間の“幸せ度”は外部環境がどうあろうとも、其の人の考え次第であり、健康で笑顔のある生活が出来れば最高だと思っています。

新しい年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心から祈念して年頭の挨拶とさせて頂きます。

平成23年元旦

関西高山会創立20周年

記念総会を迎えるにあたって

関西高山会 会長 木村滋男



大代町の皆様新年明けましておめでとうございます。皆様には御健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はリーマンショック後の金融危機が、ギリシャ危機、アイルランド危機と世界的に広がり、日本経済も厳しい年となりました。

又高齢者不在問題など心の痛む問題も発生しました。

今年こそは明るく楽しい年でありますように気持ちを前向きに持つてこの厳しさに立ち向きたいものです。

さて関西高山会は今年創立20周年を迎えます。これもひとえに関西在住の会員の皆様はもとより、大代高山会、東京石見高山会の会員のご支援ご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

この20周年記念という節目を迎えるにあたって更なる発展を願って、より多くの会員の皆様に参加していただけるよう幹事会でイベントについて色々検討致しましたところ、私達が子供の頃より親しんでまいりました大代町に古くから引き継がれてきました「石見神楽」と「田植囃子」を大代町の皆様にお願いする事になりました。

大代町の皆様にはお仕事でお忙しいなか大変な事と思いますが、よろしくお願い致します。関西在住の皆様さんはとても楽しみにしています。

同じ山・同じ川を見て育った私達が一同に集まって、本年も元気であった事を確かめ合う。そしてお互いに元気をもらって明日の活力にする。本当にすばらしい事だと思いません。

尚、第20回関西高山会総会は6月12日(日)「大阪弥生会館」で開催を予定しています。

どうか関西在住の家族、知人、友人に声をかけていただき、大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

最後になりましたが、皆様にとりまして今年一年が明るく楽しい年でありますように祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

新年に思う

大代小学校

校長 松下 明



新年あけまして おめでとうご

ございます。大代町の皆様には、小学校の教育活動に對しまして様々な面でご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この平成二十三年という年を、児童九名・教職員六名で健やかに迎えることができました。これも皆様のお陰と感謝しております。

さて、昨年は、一名の一年生の入学がありました。少人数の学校ながらも子どもたちは元気いっぱい的一年でした。今年も二名の園児が今春の大代小学校の入学を楽しみに待っているところです。

大代小学校では「新しい時代を生き抜く、豊かな心と活力のある子ども」の育成」といった学校目標を掲げ、子どもたちにこのような力をつけ、いくために、日々の様々な教育活動に取り組んでいます。この目標を達成するためには、保護者の皆様のお力だけでなく、地域の皆様のご協力が不可欠であることは言うまでもありません。

昨年皆様のご協力とご支援により、「大代っ子発表会」をはじめ、

「校内駅伝大会」「校内体操発表会」「野菜づくり」「読み書かせ・お話し会」「プール掃除」等々、子どもたちにとって貴重な体験を積み重ねることができました。誠にありがとうございました。

大代の子ども一人一人が、地域の「宝」として大切に見守られているということを感じております。これからも、地域・家庭・学校の連携をさらに深め、大代の子どもたちの育成に教職員一同さらに努力してまいります。

今後とも、保護者・地域の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

男の料理講習会参加者募集!

日時 1月30日(日)

午前9時30分～

場所 まちづくりセンター

参加費 300円

※参加希望の方は27日(木)までに
まちセンまでお申し込み下さい。



想いを新年に託して

寿会会長 日向 良



夢と希望に輝く新年を町民各位におかれましては、誠にありがとうございます。私事ですが、昨年の九月に『傘寿』を迎える事が出来ました。家族みんなの細やかな祝福を受け、感謝と幸福感に浸ったものです。そしてこれからも益々撰生して、亡き妻の分も生きる事を心に誓いました。

さて、昨年大変衝撃的な出来事がありました。その一つに中国漁船による海上保安庁の巡視船に衝突し、その行動を正当化し、又その報復として中国からの輸出の制限等、皆さんの記憶にも新しい事と思えます。また、口蹄疫が発生した宮崎県では大量の牛・豚の殺処分、又鳩山内閣の退陣で菅内閣の誕生、そして我が国の国技である相撲界に於いても力士による野球賭博で大関琴光喜関の解雇等々枚挙にいとまがない程でした。

新年を迎えて

婦人会会長 今田文子



今年こそは少しでも明るく希望がもてる年になるよう祈ります。尚、本年も寿会にご声援下さるようお願い申し上げます。

明けておめでとうございます。皆様 お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年、婦人会活動にご支援頂きました事を深く感謝いたします。婦人会活動は、年間計画に基づき各部の活動、文化部の「婦人会だより」の発行、産業部は、小学校へ野菜作りの指導や健康茶作り、生活部は梅干し作りや文化祭にはバザーを中心に行います。厚生部は福祉担当のサポートや健康に関する活動をいたします。層別の活動では、まちづくりセンターにある座布団カバーの洗濯・湯飲みの漂白・花壇の草取り等のボランティアを行います。各支部活動では、まちづくりセンターの清掃を毎

月致します。町の行事では、都市交流・敬老会・町民運動会・文化祭への協力等です。文化祭に毎年行う農産物の品評会には、腕自慢の立派な野菜が並び、とても嬉しく思います。小学校への読み聞かせボランティアは、自分たちの勉強になっっている事が多くあります。これらの活動は会員、その家族の方の協力が大きいと思います。

以前から地域に根づいた特色ある活動をと、聞いておりますが大代婦人会はこの活動が先輩会員さんの指導があり継続されているのだと思います。今年も地域の方や、家族の方の、ご支援ご協力を宜しくお願い致します。



大代消防分団長 坂本静雄

年賀

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には輝かしい平成23年の新春を、お健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は消防団活動に格別の御配慮を賜り厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りかえってみますと、異常気象による暑い夏、百歳以上の高齢者の所在不明、中国漁船に依る巡視船への衝突、口蹄疫の感染拡大、鳥インフルエンザ奄美諸島の大災害、はたまた北朝鮮によるヨンピョウ島への砲撃で朝鮮半島の緊張高まる等々我々合言葉である、安心安全の文字を疑いたくなる。

幸い我が町は、昨年は平穏無事、安心した所でありましたが大田市では火災の発生29件あり、その内建物火災は、ストーブ、ガス使用による消し忘れ、風呂のたき口等々、気をつけねばすむことですが何かの用事で目を離す、火災は一瞬のすきで発生しています。気をつけましょう。最近では調理用ガス器具など熱、あるいは水分がなくなると安全弁が働き自動的にガスが止まるという

良い器具になっていきます。「ガス消し忘れ対策」ぜひガス屋さんにご相談して下さい。安心です。又火災警報器の義務化による設置も本年5

月31日が近づいています。まだの方は至急設置され安全対策に万全を期して下さいます様お願い致します。「守れ、我が町」この想いを支える消防団として日々研鑽してまいります。予期せぬ事、ゲリラ的をやってくる大雨、大風、大地震等に気をつけたいものです。

危ないと思えば早めの避難を忘れずに！そして地域の安心、安全の担い手である団員は住民の生命、身体、財産を災害から守るという使命に燃え勇猛かつ献身的に日々の職務にあたり環境の変化するなか、一層の工夫をして地域に合った活動にしてまいります。

一層の協力を得て、今年も元気で一生懸命頑張つてまいります。そして皆様方のご活躍を祈念し挨拶と致します。

荒廃農地の再生に

自給と協同の力が欠かせない

大田市農業委員 横手新治郎



「ひろば大代」の読者の皆様、明け

ましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

突如として降ってわいたT P P騒動で、農村は大揺れの中で、新しい年を迎えました。昨年は本当に色々なことがありました。

春先の低温・長雨、夏の記録的な猛暑というダブル気象災害により、一等米は殆んどないという地域もあつたようです。加えて米価が大幅に下落（昭和六二年に、J A出荷米三〇kgが一万二千円であつたものが、五千円台に）し、さらに追い討ちをかけるようにT P P（環太平洋経済連携協定）・貿易自由化の大合唱が始まった二〇一〇年でした。そして地域の農地はアレに荒れてきています。

農水省では荒廃農地対策の手始めとして、実態調査を始めました。早々には航空写真と切り図を基に農地がどのような状態になっているか、全筆について大まかに調査をし、秋には市職員と現地を見たり、場合によっては農家にお聞きしながら色分けをしました。

草刈をすれば農地として復元できる状態を「緑色」、重機などを入れれば復元できる農地を「黄色」、復旧できない農地は「赤色」を塗ってみると、赤色・黄色になる所が目立ってきています。全国的に同じ状況ですが、高齢化・労働力不足や地域内に農業の担い手がいないなどが原因といわれていますので、当地域でも解消する可能性は極めて薄く感じました。

一年一年耕作放棄農地が増加し、荒れていくのが目に付きます。一人一人、農家個々では不可能なことで、集落、地域で考え、対策を実践すれば防げる道もあるはずです。今年の六月にはT P Pへの参加か否かの結論がでますが、参加となると食料自給率も四十%から十四%。つまりわれわれが食するものの一割強しか、日本で生産されたものではないようになるとの予測がされています。

二〇一一年は、日本にとつても、地域にとつても、油断の出来ない苦難な年になります。人間、土がなけ

れば生きていけません。命をはぐくむその土を守り、里を守るためには、協同の力は欠かせません。

逆境の風が強まるほど地域は鍛えられ、地域社会が希望のよりどころとして、その力を発揮します。そんな新しい年がスタートしました。

今年はずさぎ年

「年男」として

関西高山会 中本 弘



今年はずさぎ年、六回目のウサギ年。七十二歳になる。

昨年十一月には、叙勲という、もうこの後の人生に多分ない勲記・賞を受けた。嬉しい・感激・感動に仕上げた。叙勲の賞状を額縁に入れて、毎朝起きた時に見られる所に取り付けた。

先ず一日・一日を「人生の勝負」として心に大切に位置付けた。

二つ目は生きること。「働くこと」である。

稲森和夫氏が「生き方」の本に書

いておられる。働き方も「ド根性」で働くことである。

今年も四月からサイクルスポーツセンターに一週間日曜日だけ働かせてもらおう。また、地域・近所の皆さんに少しでも喜んでもらうように努力したい。

最後に三点ばかり述べたい。

先ず、出来るだけストレスのない生活をした。夫婦仲良く、子供達からすばらしいと見習ってもらえるようにしたい。趣味のカラオケの題は「夫婦一生」など、夫婦の心が好きで時々涙をながしながら歌うことがある。

二点目は、新聞記事で「これ」と感じたのを切り抜きしたり、日記を書く。生きている証にしたいと考えている。

三点目は、毎日平凡な生活の繰り返しを大切にしたい。

毎朝六時二十五分には、ラジオ体操の実施。地域の小学校生徒の登校時の交通整理。一週間に二〜三回フィットネスで体を鍛える。また、月に二回位、警察病院に行き、医者

診察を受け、定められた薬の服用である。

早寝早起きが身に付いており、ウサギ年だからといって特別なことではない。平々凡々の生活が大切である。もう元に戻ることは出来ない。一日・一日が「人生感動・人生青春」で太く長く楽しく笑顔で「パ・シヤン」と日本人の平均寿命まで生きたい。それが理想である。口の中で「ハッピーハッピー」と言いながら、毎日を過ごしたい。

それが私にとって、努力かもしれないし、日々の積み重ねであると信じるからである。

俳句

あすなる句会



下市 渡あやこ

重ね着の上に重ねて笑われる

小人数と云ひて鮪のおすそ分け

柿田 横手いちえ

快晴や見渡すかぎり冬の風

波音や風車まわりて冬の空

八反田 森 信子

師走とて人ゆつたりと道の駅

冬風車思ひのままに廻りけり

椿 花田時子
注連作り教わる事は真似ること
さざんかの坂に喘ぎて冷昌寺

下市 今田文子
報恩講朝のお勤め声高に
冬日和親子の牛は寝そべりて

川上 岩田律枝
恙なき生活に感謝の年の暮
枯野行く一輛電車里晴るる

椿 柿丸寿枝
開戦日飢も戦も遠くなり
はからずも触れし隕石冬吟行

2月行事予定



* * * * *

▼ 6日(日) 婦人会支部長会

▼ 10日(木) 出張申告相談

受付午前8時30分〜午後1時まで
まちづくりセンターにて

▼ 13日(日) 福祉弁当

▼ 23日(水) 連合自治会

編集後記

新年を迎えて、気持ちを新たに編集委員一同頑張ります。皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。